

要介護認定の見直しに係る検証について

検証の基本的な考えについて

- 今回、要介護認定の見直しの検証を行うにあたっては、見直し後の方式による要介護認定で判定された結果を、見直し前の方式による要介護認定の結果と比較することにより、見直し前後で結果が全体として大きく変化していないかどうかなどについて検証を行う。

1 用いるデータ

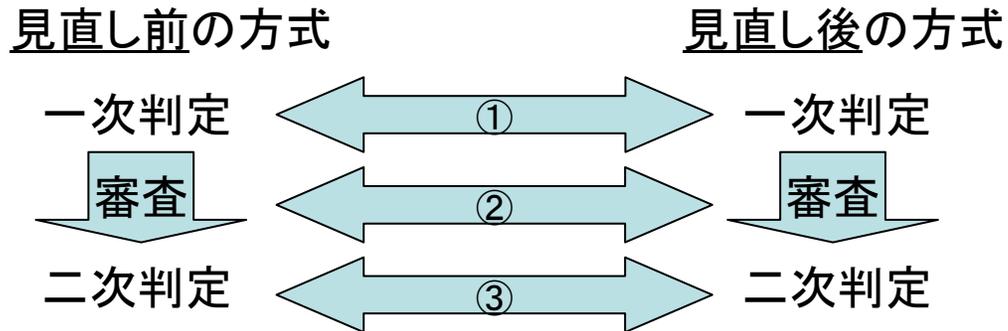
- 認定ネットワークシステムにおいて、毎月収集されているマクロのデータを活用する方法。
 - 例) 自治体別の審査件数、年齢、性別、認定調査(基本調査)の結果や、全国の要介護認定による各要介護度の割合。

- 市町村の負担に配慮しながら、新たにデータの提供を市町村にお願いする方法。
 - 例) 審査会における特記事項及び主治医意見書の活用状況を把握。

見直し前の方式との比較による検証

2 分析方法

- ① 見直し前後で、一次判定での各要介護度の分布を比較する。
- ② 見直し前後で、二次判定における、一次判定の変更率を比較する。
- ③ 見直し前後で、二次判定での各要介護度の分布を比較する。



3 留意すべき事項

- 要介護度に関するデータの年次推移。
- 自治体の属性とデータの関連。